

参院選比例代表予定候補 7 氏を発表

四国 中国、九州・沖縄 は 仁比そうへい氏(現)



日本共産党は12月27日、2019年参議院選挙について、比例代表の得票目標は「850万票、15%」、議席目標は7とし、7人の予定候補を発表しました。

四国ブロックは、2013年と同じで中国、九州・沖縄ブロックとともに仁比そうへい氏の活動地域となりました。

仁比そうへい氏(54歳、現)の略歴
参議院議員2期、党参議院国会対策副委員長、党中央委員、弁護士

白川さん 高知県仁淀川町議選を応援

12月25、26日、白川容子さんは高知県仁淀川町に入り町議会議員選挙に挑む、とうどう(藤堂)賢太郎さんを応援しました。



1月16日告示・21日投票の仁淀川町議選(定数10)で議席の空白克服をめざす、とうどう賢太郎さんと旧池川町、旧吾川村、旧仁淀村をめぐる街頭宣伝、事務所開きにのぞみました。

白川さんは「自公による憲法改悪を許さない流れをつくるため、この仁淀川町で、党の議席をかちとらせてください」と訴え。とうどう候補は国保税の引き下げ、特養ホームの増設などの政策をのべ、「毎議会質問に立ち、議会報告をします」と表明しました。

街頭宣伝中には女性から「一人暮らしで年金も少なく、暮らしが大変。とうどうさんに頑張ってもらいたい」との声が寄せられました。

また越知町では、薬用作物のミシマサイコを生産する「ヒューマンライフ土佐」の山中嘉寿馬代表と懇談、作業場を見学しました。



3000万署名担当者会議に参加

12月23日、白川さんは党本部で行われた「3000万署名担当者会議」に香川県の代表として参加しました。四国の各地でも寒さについて積極的に取りくまれています。

激動の2017年もあとわずか。みなさん、お元気でよいお年をお迎えください。